

<http://una.soragoto.net/lecture/linux/permission/8.html>

<http://www.tooljp.com/linux/doc/02filesystem/003suidsgidstickybit/index.html>

フラグ	chmod	説明	設定	使用用途
SUID	4000 or u+s	ファイルの所有者として実行される	実行可能ファイル (スクリプトは不可)	/usr/bin/passwd とか
SGID	2000 or g+s	ファイルの所有グループとして実行される	実行可能ファイルディレクトリ (スクリプトは不可)	共有ディレクトリとか
スティッキービット	--	全ユーザは書き込み可能だが、所有者以外は削除できない ディレクトリに設定	--	

## 以下古い内容

[http://www.stackasterisk.jp/tech/engineer/permission02\\_01.jsp](http://www.stackasterisk.jp/tech/engineer/permission02_01.jsp)

suid や sgid が設定された実行ファイルを実行すると、そのプログラムは実行ファイルの所有者ユーザや所有グループの権限で動作します。

```
chown u+s hoge
```

sgid が設定されたディレクトリ直下で作成されたファイルは、その所有グループがディレクトリの所有グループになります。

```
chmod g+s hoge
```

ディレクトリに sticky を設定しておく则ち自分のファイルは作成および削除できても他のユーザのファイルは削除できなくなります (なお root ユーザはパーミッションの制約を受けないのでファイルの削除は可能です)。

```
mkdir -m 1777 /hoge
```